



第92回全道メーデーは、5月1日札幌市大通西6丁目広場で開催されました。

今年のメーデーは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、構成産別・未加盟労組・市民団体の会場参加は求めず、また登壇者も最小限で式典を開催し、YouTubeLiveでの配信となりました。

最初に杉山大会長が「2021 春闘はコロナ禍の厳しい環境の中、各構成組織が粘り強い交渉によりベアをはじめ、働き方改革の変化に対応した手当や制度の創設など、人への投資につながる成果を勝ち得た組合がある」と述べ、さらに「闘争が続く未解決組合の解決促進はもとより、今こそ、この間コロナ禍の影響を受けて大きく痛んだ労働環境を再生し、助け合う社会の実現に向けた運動の先頭に立つ」と決意をこめて挨拶。

つぎに立憲民主党北海道から4月の衆議院北海道二区補選で当選を勝ち取った松木副代表が来賓挨拶に立ち「国は新型コロナを徹底的に抑え込むための政策を拡充・新設とともに雇用や生活、経営が厳しくなった人々に対して責任を持つべき」と訴え、また「衆議院総選挙に必ず勝利し国民のための政治を実現する」と全道の仲間とともに総選挙に挑む決意を述べました。

さらに、多くのメッセージ・祝電の中から北海道知事・札幌市長からのメッセージを披露。続いて「新型コロナに関する差別・誹謗・中傷を許さない」旨の新たな一文を加えたスローガン、「今こそ、分断から連帯へ。支え合い・助け合いと共生の社会の実現を」を結語とするメーデー宣言、「第49回衆議院選挙勝利に向けた特別決議」を提案・連合北海道HP上での確認を求めました。

最後に第92回全道メーデーは、杉山大会長による力強い団結ガンバロー三唱により式典を終了しました。

